

< 耕作放棄地復旧加算を目標としている事例 >

非農業者との連携や耕作放棄地解消による集落環境整備

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	やまぐちけんやないし おさきばら 山口県柳井市 尾崎原				
協定面積 9.4ha	田(96.6%)	畑(3.4%)	草地	採草放牧地	
	水稲	野菜・果樹			
交付金額 154万円	個人配分			40%	
	共同取組活動分 (60%)	担当者活動経費			5%
		農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の経費			5%
		鳥獣害防止対策及び水路、農道等の管理経費			20%
		農用地の維持・管理活動経費			10%
多面的機能増進活動経費			20%		
協定参加者	農業者 18人 農業生産法人 1組織 非農業者 3人				

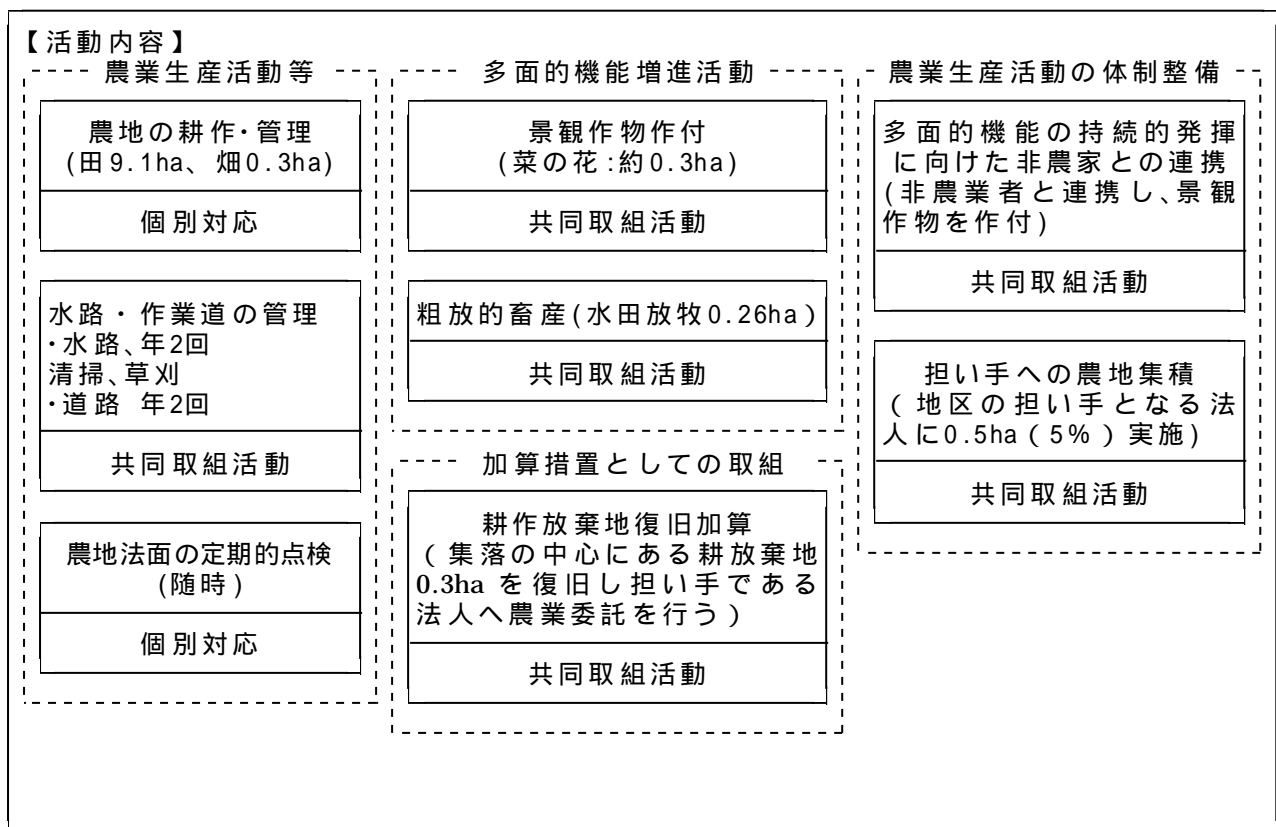
2. 集落マスタープランの概要

集落の将来像

非農業者等との連携による多面的機能増進活動と集落の実情に即した持続的な農業生産活動等を行う

5年間の目標

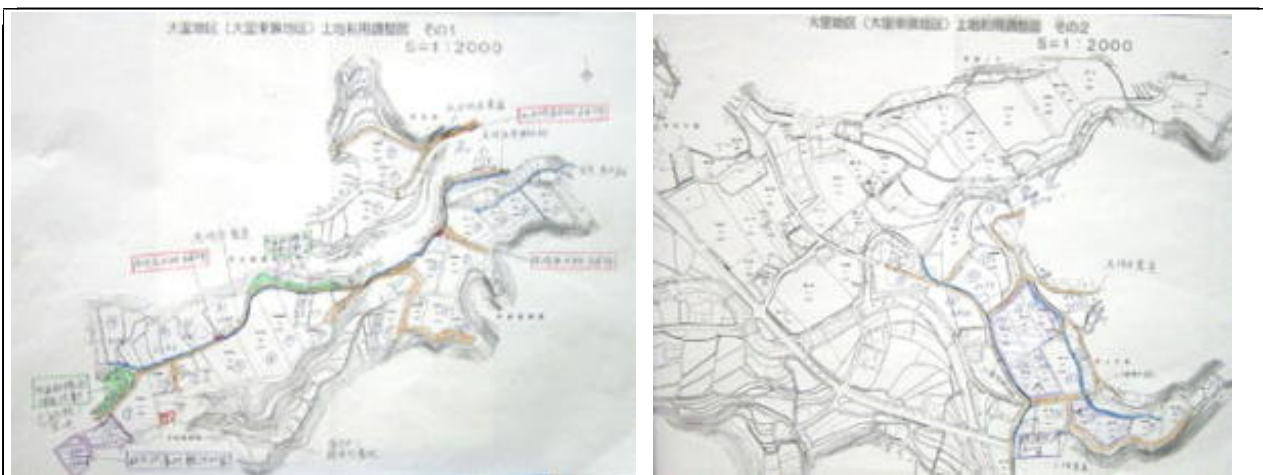
- ・ 農業者と非農業者が連携し、多面的機能増進活動である景観作物の作付けを行う。
- ・ 地区の担い手である農事組合法人に利用権設定を5%行う。
- ・ 耕作放棄地を復旧し、担い手である法人へ農作業委託を行う。



3 . 取組の経緯及び内容

当地区は経営体育成基盤整備事業の大里地区で基盤整備に取り組んでいる集落であり、協定面積のほとんどが基盤整備を行ったばかりである。しかしながら、傾斜を有する地形条件のため畦畔が広く残ることとなり生産条件の不利を補うため、本制度に引き続き取り組むこととなった。

制度を活用し、基盤整備後の体制整備を進めるとともに既耕作放棄地についても、山口型放牧を活用し耕作可能な状況に復旧し、担い手への集積をする。地区の担い手である農事組合法人と連携して農地を守っていくとともに、集落に在住する非農業者とも連携し、景観作物の作付け等を行い、集落の環境を良くしていくこととしている。



農用地等保全マップ

- ・ 基盤整備の地区外の水路についても、補修を行う箇所を記す他、非農業者と連携して多面的機能増進活動を行う箇所を示すなど、詳細な記述。
- ・ 集落協定として、将来的に地区の担い手である農事組合法人へ農地集積する箇所を明確に示した。（協定面積の5%）



放牧前



放牧後

[平成21年度までの取組目標]

集落の中心にある耕放棄地 0.3ha を復旧し担い手である法人への農業委託を実施。
担い手への農地集積（当初 0ha、目標 0.5ha（協定農用地面積の5%））を実施。
集落協定への10%の非農家の参画を達成する。